

今戸焼 干支人形

こもり いぬ
子守戌



犬は古来より、人の祖として人間の生誕に深く関わり、子供の魔除けになると信じられていました。新生児のお守りとして知られる犬いぬはこ筥は、雄雌一対の張り子の容器で御伽犬ともいわれ、子供の傍らで伽をし、室町時代から公家の産所や寢所のお守りとして置かれ、江戸時代には武家の嫁入り道具として調える習慣もありました。犬張り子はこれを民間でまねて作られたもので、宮参りで産土神に参詣する際や子供の誕生に、張り子の犬を贈る風習が現代も受け継がれています。

このたび新作として、子供を慈しみ邪魔を追いかう犬が、子供を背にのせ伽をしている干支人形、子守戌（こもりいぬ）を作りました。

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます

今戸焼 白井

六代 白井 裕一郎